

学校種別: 大学	学校課程コード: 2615-101-260
所在地都道府県: 京都府	審査受付番号: 100007
学校名 課程名: 京都精華大学 デザイン学部 プロダクトデザイン学科 インテリアプロダクトデザインコース(平成23年03月31日募集停止等)	
対象入学年: 平成22年度(2010年度) 修業年限: 4年	新規申請の認定通知日: 2009/12/01
必要な実務経験年数 試験時: 最短0年 登録時: 最短0年	変更申請の認定通知日: 2013/03/28

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	基礎デザイン2	1年	2
①建築設計製図	基礎デザイン3	2年	3
①建築設計製図	CG演習3	2年	2
①建築設計製図	インテリアデザイン1	3年	3
①建築設計製図	インテリアデザイン2	3年	3
小計			13
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史1<日本建築史>	1~4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史2<西洋建築史>	1~4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近代空間論	2~4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	デザイン論2	2~4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境工学	3~4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	設備工学	3~4年	2
小計			12
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造	3~4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築力学	3~4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構法演習	2~4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	材料実験	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	素材論1	3~4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	素材論2	3~4年	2
小計			12
⑧建築生産	伝統建築工法	2~4年	2
⑧建築生産	施工演習	4年	2
⑧建築生産	積算演習	4年	2
小計			6
⑨建築法規	建築法規演習	3~4年	2
小計			2
⑩複合関連科目	プロダクトカラー論	1年	2
⑩複合関連科目	デザイン史1	1~4年	2
⑩複合関連科目	素材造形1<木>	1年	3
⑩複合関連科目	近代意匠論	2~4年	2
⑩複合関連科目	インテリアデザイン論	2~4年	2
⑩複合関連科目	ユニバーサルデザイン論	2~4年	2
⑩複合関連科目	ライティングデザイン1	3年	3
⑩複合関連科目	インテリアプロダクトデザイン1	3年	3
⑩複合関連科目	インテリアプロダクトデザイン5	3年	3
⑩複合関連科目	スペースデザイン2	3年	3
⑩複合関連科目	人間生活工学	3~4年	2
⑩複合関連科目	現代建築論	2~4年	2
⑩複合関連科目	ランドスケープデザイン	3~4年	2
⑩複合関連科目	まちづくりデザイン	3~4年	2
⑩複合関連科目	伝統建築論	2~4年	2
小計			35

学校種別: **大学**

学校課程コード: **2615-101-260**

所在地都道府県: **京都府**

審査受付番号: **100007**

学校名 課程名: **京都精華大学 デザイン学部 プロダクトデザイン学科 インテリアプロダクトデザインコース(平成23年03月31日募集停止等)**

対象入学年: **平成22年度(2010年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2009/12/01**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日: **2013/03/28**

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	45
		①～⑩計	80

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上 ②③④ 2単位以上 ⑤⑥⑦ 3単位以上 ⑧ 1単位以上 ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。